

広 報

はんの樹



- *最近の出来事から 2-3頁
- *新任職員紹介 4頁
- *2019年度収支報告 5-7頁
- *各課便り 8-13頁
- *寄付・寄贈品報告 14頁
- *お誕生日おめでとう 15頁

社会福祉法人 榛桐会

はんな・さわらび療育園

群馬県高崎市榛名山町28-30

最近の出来事から

6月20日 ISO9001



ISO9001認証を今年3月に取得しました。それに伴い、はんな・さわらび療育園をはじめとして、きぬの郷やハーモニー高崎ケアセンター等の拠点に認証を取得したことがわかるように新たな看板を設置しました。

各部署がマニュアルを作成し、マニュアルの流れに沿って業務を行い、改善すべき点を改善し、一人一人の業務の質を向上させ、より良いサービスを提供するように努めます。また、PDCAサイクルを回すことにより、改善点が明確になって業務の無駄がなくなり、新たなことにチャレンジする時間や今まで疎かになっていた業務に時間を使えるようになると思っています。

7月1日 創立52周年式典



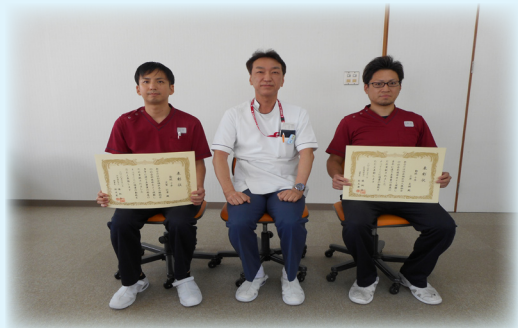
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1ヶ月遅れではんな・さわらび療育園創立52周年の記念式典を行いました。

また、永年勤続者の表彰が行われ、20年、10年、5年勤続職員が受賞しました。10年勤続職員は、「公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会」からの永年勤続表彰も合わせて受賞しました。

永年勤続表彰者

5年

10年



20年



勤務等の都合上
該当者全員の顔
ぶれではありません。

2019年度 社会福祉法人榛桐会 収支報告

資金収支計算書

(自) 平成 31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による取 入	介護保険事業収入	2,265,000	2,255,063	9,937		
	児童福祉事業収入	17,227,000	17,862,861	△635,861		
	障害福祉サービス等事業収入	750,511,000	712,452,272	38,058,728		
	医療事業収入	911,661,000	916,231,705	△4,570,705		
	経常経費寄附金収入	300,000	415,000	△115,000		
	受取利息配当金収入	110,000	95,042	14,958		
	その他の収入	7,400,000	4,416,831	2,983,169		
	事業活動収入計 (1)	1,689,474,000	1,653,728,774	35,745,226		
	事業活動による取 出	人件費支出	1,187,880,000	1,056,026,746	131,853,254	
		事業費支出	206,035,000	189,362,066	16,672,994	
事務費支出		248,871,000	223,120,870	25,750,130		
支払利息支出		1,500,000	1,108,349	391,651		
その他の支出		5,340,000	3,863,109	1,476,891		
事業活動支出計 (2)		1,649,626,000	1,473,481,080	176,144,920		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	39,848,000	180,247,694	△140,399,694			
施設整備等による取 入	施設整備等補助金収入	0	2,550,000	△2,550,000		
	固定資産売却収入	330,000	330,000	0		
	施設整備等収入計 (4)	330,000	2,880,000	△2,550,000		
	施設整備等による取 出	設備資金借入金元金償還支出	89,000,000	89,000,000	0	
		固定資産取得支出	18,560,000	13,400,055	5,159,945	
施設整備等支出計 (5)	107,560,000	102,400,055	5,159,945			
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△107,230,000	△99,520,055	△7,709,945			
その他の活動による取 入	その他の活動収入計 (7)	0	0	0		
	その他の活動による取 出	積立資産支出	100,000,000	100,000,000	0	
		その他の活動による支出	10,000	8,600	1,400	
	その他の活動支出計 (8)	100,010,000	100,008,600	1,400		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△100,010,000	△100,008,600	△1,400			
予備費支出 (10)	10,000,000	-	9,990,000			
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△177,382,000	△19,280,961	△158,101,039			
前期末支払資金残高 (12)	584,326,000	584,324,885	1,115			
当期末支払資金残高 (11)+(12)	406,944,000	565,043,924	△158,099,924			

2019年度 社会福祉法人榛桐会 収支報告

第二号第一様式 2

事業活動計算書

(自) 平成 31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	取			
	益			
	介護保険事業収益	2,255,063	644,355	1,610,708
	児童福祉事業収益	17,862,861	16,457,592	1,405,269
	障害福祉サービス等事業収益	712,452,272	675,429,965	37,022,307
	医療事業収益	916,231,705	869,204,295	47,027,410
	経常経費寄附金収益	415,000	505,000	△90,000
その他の収益	34,450	0	34,450	
	サービス活動収益計(1)	1,649,251,351	1,562,241,207	87,010,144
費用	人件費	1,057,862,461	1,037,957,423	19,905,038
	事業費	189,362,006	189,968,166	△606,160
	事務費	220,992,630	231,348,352	△10,355,722
	減価償却費	87,463,727	95,662,459	△8,198,732
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△18,493,027	△25,633,574	7,140,547
	サービス活動費用計(2)	1,537,187,797	1,529,302,826	7,884,971
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	112,063,554	32,938,381	79,125,173
サービス活動外増減の部	取			
	益			
	受取利息配当金収益	95,042	87,229	7,813
	その他のサービス活動外収益	4,089,856	6,806,166	△2,716,310
	サービス活動外収益計(4)	4,184,898	6,893,395	△2,708,497
費用	支払利息	1,108,349	1,360,805	△252,456
	その他のサービス活動外費用	3,863,109	4,830,526	△967,417
	サービス活動外費用計(5)	4,971,458	6,191,331	△1,219,873
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△786,560	702,064	△1,488,624
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	111,276,994	33,640,445	77,636,549
特別増減の部	取			
	益			
	施設整備等補助金収益	2,550,000	0	2,550,000
	固定資産売却益	290,478	0	290,478
	特別収益計(8)	2,840,478	0	2,840,478
費用	国庫補助金等特別積立金積立額	2,550,000	0	2,550,000
	特別費用計(9)	2,550,000	0	2,550,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	290,478	0	290,478
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	111,567,472	33,640,445	77,927,027
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,025,142,605	968,502,160	56,640,445
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,136,710,077	1,002,142,605	134,567,472
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	123,000,000	△123,000,000
	その他の積立金積立額(16)	100,000,000	100,000,000	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,036,710,077	1,025,142,605	11,567,472

2019年度 社会福祉法人梧桐会 収支報告

貸借対照表

第三号第一様式

令和 2年 3月 31日 現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	598,243,714	628,708,977	△30,465,263	流動負債	45,703,790	69,084,092	△23,380,302
現金預金	353,883,607	394,431,108	△40,547,501	事業未払金	32,810,509	44,273,381	△11,462,872
事業未収金	243,245,953	233,163,453	10,082,500	1年以内返済予定設備資金借入金	12,504,000	24,700,000	△12,196,000
未収金	2,000	689	1,311	預り金	389,281	110,711	278,570
未収補助金	151,120	163,305	△12,185				
前払費用	938,770	0	938,770				
仮払金	22,264	950,422	△928,158				
固定資産	2,498,179,720	2,471,084,858	27,094,862	固定負債	42,252,064	117,866,608	△75,614,544
基本財産	1,327,567,202	1,383,215,915	△55,648,713	設備資金借入金	27,076,000	103,880,000	△76,804,000
土地	581,136,576	581,136,576	0	退職給付引当金	15,176,064	13,986,608	1,189,456
建物	746,430,626	802,079,339	△55,648,713	負債の部合計	87,955,854	186,950,700	△98,994,846
その他の固定資産	1,170,612,518	1,087,868,943	82,743,575				
構築物	17,614,875	18,981,486	△1,366,611	基本金	750,926,800	750,926,800	0
車両運搬具	14,438,763	13,996,185	442,578	第1号基本金	750,926,800	750,926,800	0
器具及び備品	73,733,780	91,155,338	△17,421,558	国庫補助金等特別積立金	171,471,547	187,414,574	△15,943,027
ソフトウェア	0	79,650	△79,650	その他の積立金	1,049,359,156	949,359,156	100,000,000
退職給付引当資産	279,695	279,695	0	修繕積立金	94,270,000	94,270,000	0
措置施設繰越特定預	299,598,356	299,598,356	0	備品等購入積立金	205,328,356	205,328,356	0
施設整備積立金積立預金	749,760,800	649,760,800	100,000,000	施設・設備整備積立金	749,760,800	649,760,800	100,000,000
共済財団退職金預け金	14,896,369	13,706,913	1,189,456	次期繰越活動増減差額	1,036,710,077	1,025,142,605	11,567,472
預託金	289,880	0	289,880	(うち当期活動増減差額)	111,567,472	33,640,445	77,927,027
その他の固定資産	0	310,520	△310,520	純資産の部合計	3,008,467,580	2,912,843,135	95,624,445
資産の部合計	3,096,423,434	3,099,793,835	△3,370,401	負債及び純資産の部合計	3,096,423,434	3,099,793,835	△3,370,401

財 産 目 録

別紙 4

令和 2年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
1 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
普通預金	群馬銀行室田支店	—	運転資金として	—	—	338,894,281
	しのめ信用金庫剣崎支店	—	運転資金として	—	—	9,985,990
	足利銀行高崎支店	—	運転資金として	—	—	5,003,246
			小計			353,883,607
事業未収金			2月及び3月分障害福祉サービス等・医療事業収益他			243,245,953
未収金			しのめ信用金庫口座番号1229213			2,000
未収補助金			利息分			151,120
前払費用	関東自動車共済協同組合	—	2019年度下期M&C委託料	—	—	938,770
仮払金		—	2020年度自動車共済掛金	—	—	22,264
		—	利用者負担立替分・新設準備金	—	—	—
			流動資産合計			598,243,714
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地		—	はん・な・さわらび拠点区分に使用	—	—	581,136,576
建物	高崎市榎名山町28-30	1986年度		2,013,302,507	1,266,871,881	746,430,626
			基本財産合計			1,327,567,202
(2) その他の固定資産						
構築物		—	貯水槽・深井戸揚水設備他	61,477,915	43,863,040	17,614,875
車両運搬具		—	稼働 送迎用他	85,414,600	70,975,837	14,438,763
器具及び備品		—	医療機器装置及び備品・ベッド・厨	343,762,170	270,028,390	73,733,780
		—	房機器他	—	—	279,695
退職給付引当資産		—	退職給付引当資産	—	—	299,598,356
措置施設繰越特定預		—	措置施設繰越特定預金	—	—	299,598,356
施設整備積立金積立預金		—	施設整備積立金積立資産	—	—	749,760,800
共済財団退職金預け金		—	県車共済退職金掛金	—	—	14,896,369
預託金		—	自動車リサイクル預託金	—	—	289,880
			その他の固定資産合計			1,170,612,518
			固定資産合計			2,498,179,720
			資産合計			3,096,423,434

各課便り

第一療育課から

これから

コロナ対策で、マスク・手洗い・ソーシャルディスタンスが徐々に日常になりつつあります。

日々の感染予防に努めたり、なんとなく不安な日々を過ごして自分がいます。

最近、小児の利用者様も多くなってきた。日々の仕事の中にも癒しを感じる事ができています。可愛らしい笑い声や、ふとした時に笑顔を見ると、ほっとして私も笑顔になっていく事が多くあります。

また、少し前までは、出来なかった事が出来るようになったり、少し体が大きくなったり、それぞれの成長が感じられます。

私自身も成長できるような頑張りたいと思います。
(看護師 萩原恵美子)

癒し

梅雨が長引き、ジメジメとした日々が続いています。外を見れば天気はグズグズ、テレビを見れば新型コロナウイルス感染症の事ばかりで、去年からは想像もしてなかった生活を送っています。新型コロナウイルス感染症も落ち着かない中、児童と関わりと気分がほっこり癒されます。ベッドを覗くとこつちを見て笑顔になる方、抱っこをすると、職員の肩に頭をコテンとする方、お腹がすいた、かまってほしいと泣いて職員を呼ぶ方。色々な利用者に癒されています。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の流行は終息しそうにないですが、児童と成人の利用者さんすべてに癒されながら乗り越えていきたいと思っています。

(保育士 平尾憂)

一年

入社してから九月で一年を迎えます。新型コロナウイルス感染症がなかなか終息せずにはいますが、最近では感染対策を行った上で利用者様とトレーラーに乗車したり、散歩に出たり、シャボン玉をしたりと一緒に活動を楽しんでいきます。

なかなか保護者の方々とは会えない日々が続いていましたが特別面会やテレビ電話を行った際には利用者様、保護者様共に笑顔が見られ嬉しく思いました。また、保護者様からお礼の言葉や励ましの手紙を頂き、より一層感染対策に配慮し、利用者様との活動を一緒に楽しんでいきたいと思っています。

(保育士 萩原希望)

依然として新型コロナウイルス感染症が続いています。今までの生活は一変し、新しいスタイルの日常が徐々に浸透し始めている方も多いのではないのでしょうか。自分自身も業務中だけでなく私生活においても感染予防の対策を意識した行動が増えたと実感しています。

今の状況が終息することを願いながら、自らの責任と役割をしっかり果たすと共に利用者様との日々の関りを大切にしたいと思っています。

(看護師 齋藤景)



楽しい日々を…

毎日のように新型コロナウイルス感染症の話題で聞こえてきません。それと同調するかのように天気も不安定…。そんな中、楽しいことを見つつけようと試行錯誤している所です。天気の良い日は外でおやつを食べたり、シャボン玉や水遊びもしました。少しでも季節を感じてほしくてトレーラーに乗り、夏のおいや音を感じとりました。そんな些細なことでも楽しんでいただけると、また感染対策で他所と関われない中の気分転換になればと思います。

ご家族様は面会も出来ず、不安に感じていらつしやる方がたくさんいると思います。

どうにかいつも通りの日常が早く戻ることを願いつつ、入居者様とご家族様が会える日を楽しみにしています。

(介護福祉士 山崎里香)

新型コロナウイルス感染症の流行で当園でも様々な予防策がとられています。各病棟同士の交流が禁止となり、リハビリ課が病棟配置となりました。今までは、リハビリ室で行っていたリハビリが、病棟で行うようになり、リハビリ時の利用者様の様子を見ることが増えました。

その中で、利用者様の新たな一面を知ったり、発見もありました。新型コロナウイルス感染症対策による体制の変化によって、リハビリ課との情報交換がしやすくなり、チームで働いていると感じることも多くなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で行うことが出来なくなつたこともあり、良い変化もあると感じています。利用者様にできることを多職種と協力しながら支援を行っていききたいと思っています。

(看護師 北沢桐利子)

入職して

本年四月に入職してから、早いもので二ヶ月が経ちました。入職当時は、業務の流れを覚えることに必死で緊張や不安の毎日でした。そんな右も左もわからない私に先輩方や他職種の方々はとても親切で、一つ一つ丁寧にご指導をしてくださりました。

利用者様は、それぞれ好きなことや不快に思うことが異なるため、関わり方に関して戸惑いを感じてしまうことが多くありました。先輩方や病棟職員の方々から関わり方を学び、日々介入を進めていく中で一人一人の利用者様の個性や特徴が少しずつ理解できるようになりました。

私が担当させていただいている利用者様の中には、スキップを好む方、好まない方がいらつしやいます。そういった利用者様一人一人に対して私自身ができることを精一杯やらせ

ていただいているもの、なかなか思うようにいかないことがしばしばあります。利用者様にとつて、必要なことはなにか、求めていることはなにか、などに疑問を持つことで利用者様とより良い関係性を築けることに繋がると考えております。

今後、利用者様への介入を進めていく中で、常に疑問を持ち続けることは大事にし、利用者様の生活を豊かにすることを第一に考え努力したいと思っています。

社会人として、理学療法士として未熟で、至らぬ点が多々あるかと思いますが、日々の努力を怠らず頑張っていきたいと思っています。

(理学療法士 清水 紗彩)



夏を感じる

立秋とはいえ名ばかりの暑さですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。気温も三十度を優に超え、うだるような暑さが続いています。関東甲信地方では先行的に熱中症警戒アラートが発表されました。ここはんなさわらび療育園でも利用者様方の体調管理により一層尽力していきます。

八月一日の梅雨明け宣言後、私は久しぶりにT様と散歩に行きました。少し前までは外を歩けば曇った空と湿った空気に重苦しさを感じていたのに、この日は照り付ける太陽や緑のにおい、虫の鳴き声に包まれ、いつの間にか夏が来ていたことに気が付かされました。T様はアスファルトの上で蛍光灯とは比にならない太陽のまぶしさや青々とした榛名山の景色に目を細めていました。木陰に入れば涼しさを感じ、風にざわめく葉の音を楽しんでいました。T様は散

歩中振り返っては私と視線を合わせ、右腕を上げて「あそこに行きたい」と言っているようでした。瑞々しい夏に囲まれ、コミュニケーションを交わしながらの散歩は私自身もとても楽しかったです。お部屋に帰ってからもT様は笑みをこぼされ、それを見て私も胸の内が温かくなりました。

夏といえば他にも様々な楽しみがあり、例年であればお化け屋敷の開催など楽しみにされていた方も多いと思います。しかしこのコロナ禍、密を避けるため行事の中止を余儀なくされました。そんな中でも季節にあっただかしみを感じて頂きたいというの私の想いです。大きなイベントでなくとも感染症対策や熱中症に注意し、生活の中で安全に季節を体感していただけたらと思います。

(言語聴覚士 金井瑞季)

第二療育課から

ある日のこと

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、四月十六日政府より緊急事態宣言がだされました。現在は緊急事態宣言は解除されていますが引き続き注意が必要な状況となっています。園内では利用者様が感染することなく生活されていることに安堵するとともに、まだまだ安心できないという気持ちでもあります。今や利用者様にとっても保護者様にとっても我慢を強いられる生活となってしまうかもしれません。

先日久しぶりにトレーラーに乗る利用者様を見た時、私自身なぜかとても嬉しくなりました。お日様の光に照らされトレーラーはキラキラ光っています。その中で嬉しそうに揺られている利用者様。以前と比べると変わらない光景が私にとって

は特別な光景に見えました。

これからもまだ注意が必要な状況ですが、今後も誰一人利用者様が感染することがないよう、また元気な姿が毎日見られるよう気を締めつけて利用者様と関わらせていただきたいと思います。

(看護師 高橋 光)



きれいなお花が咲きますように

六月になると梅雨の時期になり、もうすぐそこに夏が近づいてきています。世間では新型コロナウイルス感染症が流行っておりますが、皆様どうお過ごしでしょうか。

しかし、さわらびは暗いニユースばかりではありません。二棟ひまわりグループの利用者様の中には、六月から朝顔、ひまわり、コスモスの花を栽培する方がいらつしやいます。

栽培する方々は種まきから開始です。種を植えてに土を掘って被せたり、みんなと一緒に種を植えている私を心配しながらも嬉しそうな表情で見守つていたりと様々でした。

梅雨の時期は雨が降るため私たちが水やりをすることは少ないですが、梅雨が明けたときには忘れずに水やりをしなくてはなりません。花も大切な命です。実は私はお花を育てることは小

学生以来であるため正直不安ですが、責任感を持つて枯らさないように育てていく気持ちは誰よりも大きい自信があります。

名前を付けたり言葉をかけてり・・・愛情の注ぎ方は人それぞれだと思えますが、過保護になりすぎないように大切にしていきたいです。そして芽が出た時、蕾になった時、花が咲いた時の喜びを共有していきたいと考えています。私たちの期待がお花に伝わっているといいですね。お花が咲いた後はどうするのか一緒に育てていく方にお話を聞いてみようと思えます。とても素敵なアイデアを出してください。予感がしています。

二棟の前にお散歩に来た際にはぜひお花の様子を見ていってください。世の中の不安を取り除けるようなきれいなお花が咲きますように。皆さんの感想もお待ちしております！

(言語聴覚士 島村 寿実玲)

転職

作業療法の領域は身体・発達・精神・老年期に分かれています。私は作業療法士の資格を取得してからの十三年間は身体領域に携わり、総合病院および回復期病院にてリハビリテーションを提供してきました。患者様、医療従事者をはじめとする多くの方々との出会いを通じてリハビリテーションをともに行う喜びや楽しさ、時に厳しさを感じ、作業療法士を一生の仕事として行っていくことのやりがいを感じることができました。

そんな中、十四年目になって領域を変えたいという大きな決断をさせていただきました。そこには私が昔から抱いてきた思いと大切な方々の後押しがありました。私には脳性麻痺を患った弟がいます。幼い時から身の回りのこと全てに介助が必要で言葉を通じて人に気持ちを伝えることはできません。しかし、これまで感じ取れているか分かり

ませんが感覚(聴覚や視覚、触覚等)を通して家族やよく逢う人を感じ、ニコツとしたり、泣いたり、緊張したりと適切な反応を返してくれるのです。また、何度も大病と対面して頑張る姿を見て、何事にも負けない気持ちを周囲に与えてくれる強い存在だと感じています。

そんな弟のように障害を患った中でも頑張る方々に楽しい人生を過ごしていただきたい、そのお手伝いをしたいという気持ちを抱いてきました。しかし、今までは自分に何ができるのか分からず自信がない、そんな風に考え、なかなか発達領域に踏み出せずにいました。

そんな中、以前の職場の上司が「本当に大変なのは患者様(利用者様)だ。」との言葉をよく口にしており、自分の中で色々悩んでいても先に進めないなどいう気持ちが芽生えました。同期や他のスタッフからのエールもあり、本当にやりたいこと『発達領域で利用者様の人生を支えること』を行いたいと思えるようになり、転職の決断をしまし



た。

私は、はんな・さわらび療育園に入職してから約三ヶ月、新たな出会いや喜び、自分との葛藤を感じながら日々を過ごしています。この発達領域で利用者様、ご家族様が少しでも楽しい、嬉しい日々を提供できるように精進していきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。
(作業療法士 相川 浩貴)

共通の趣味

長かった梅雨もようやく明け、一気に夏らしい陽気になってきました。急な気温変化に利用者様、職員ともに体調を崩さないか心配な日々です。

同室のOさんとIさんには、応援しているガールズグループがあります。オーディションや練習期間を経て、デビューメンバーが決まり最近プレデビューを果たしたグループです。そのグループにはいろいろな子がいて、みんな健気に頑張っている様子を見ると彼女たちを応援しなくなります。私もその一人です。たまたま同じタイミングで彼女たちを応援していたことを知ってからは、Oさん達と彼女たちの話をたくさんしました。同じグループを応援しています。OさんとIさんでは、応援している子や好きな衣装の雰囲気などが全く違いました。また、IさんとはCDを用意して曲を流しながらハビリを行ったので

すが、Oさんとは彼女たちの動画を見ながら順位を予想したりしました。

そもそも野球や時代劇がお好きな二人でしたから、ガールズグループに興味を持つているとは思いませんでした。彼女たちを通して二人の新たな一面を知ることができました。その他にも、彼女たちの最新情報を手に入れたら二人にすぐにお知らせする楽しみができたことや、TVで彼女たちの曲が流れると熱いままざしでOさんが私に教えてくれるようになります。とても嬉しく思っています。これからも三人で一緒に応援していきます。

(理学療法士 星野 朱音)



通所支援 事業所から

七夕

今年はいつもと違い新型コロナウイルス感染症の関係で人と人との距離を保たなくてはなりません。そのため、通所においても御利用者様や御家族には感染予防に関して様々なお願いしています。ですが、このような時だからこそ気持ちを明るく前向きに夢や希望をもって頂く事が出来たらと夏の風物詩である七夕を計画しました。

御利用者様や御家族様の夢や希望はスタッフにとつての夢や希望ですので、願い事を御利用者様と一緒に話し合いながら短冊に書きました。S様は「がんばってあるく」です。コロナ禍の中、廊下での歩行練習が出来なくなつたため、戸外で主に練習をするようになりました。最近では徐々にアスファルト面に慣れてきて笑う余裕も見られるよ

うになつてきています。

H様は「笑顔」です。「最近よく笑うようになりましたね」と言われたことがあります。笑いは免疫能を上げる効果もあるので、心身の健康面からもリラックス出来る環境をさらに続けていけるようチームで取り組んでいきたいと思っています。

H様は「たのしく」です。散歩をしている時など何度か声を出して笑われたことがあります。これからもご本人のペースで、安心して穏やかに楽しく過ごして頂ける心の居場所となれるよう寄り添っていったらと思つています。

K様は「絵本を沢山読む」です。絵本への興味をさらに深め様々な絵本が読めるよう時間を工夫しながら取り組んでいけたらと思ひます。

T様は「挑戦」です。興味や関心の幅が広がられたらとの思いから、ご本人やご家族・スタッフ間で話し合い様々な体験が出来たらと思ひます。

S様はまた一緒に楽しい時間を過ごせる日が来ることを職員

星に願いを込めて記した短冊をお一人おひとりが笹の葉に飾りました。皆さんが得意分野を生かして作り上げた七夕飾りは素敵に仕上がり通所内を明るくしています。

(看護師 瀬下 明美)



寄付・寄贈品の紹介



六月十九日
 寄贈主
 大宮聖愛教会信徒
 越水郁子 様
 (千葉県八千代市)
 寄贈品
 お米 一袋(十キロ)
 五連ミニボーロ 五個
 たまごボーロ 十五個
 フルーチェ 三十個



六月四日
 寄贈主
 NPO法人
 クロスワイズ
 寄贈品
 絵本「ひとりぼっちじゃ
 ないんだよ」
 六冊
 様



七月十四日
 寄贈主
 JX-TG
 ホールディングス
 寄贈品
 童話の花束
 五十冊
 様



いつもご支援を賜り、感謝申し上げます。

お誕生日おめでとう！

8月

4日	松浦 由似 様	35歳
5日	山崎 健二 様	70歳
7日	中沢 ゆき子 様	63歳
	日部 剛伸 様	51歳
	佐藤 たまみ 様	31歳
8日	松浦 栄二 様	41歳
9日	山本 太郎 様	38歳
13日	堀口 敬尚 様	59歳

7月

4日	土井 洋子 様	50歳
14日	長井 孝行 様	58歳
15日	蛭田 藍夏 様	28歳
21日	伊藤 忠 様	65歳
	浦野 初枝 様	53歳
	福田 知美 様	41歳
26日	武井 千恵美 様	60歳

6月

4日	赤坂 悟志 様	32歳
6日	栗原 勝 様	75歳
12日	吉野 祐二 様	55歳
13日	青柳 沙織 様	34歳
29日	桂 洋美 様	48歳



編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束のめどが立たない中、今年もインフルエンザの季節になってまいりました。私は、インフルエンザに一度も罹ったことがありません。これも、毎年予防接種を受けている為に罹っていないのだと思っております。皆様もインフルエンザに罹る前に早めの予防接種を受けましょう。

今年も四分の三が過ぎ、九月に入り肌寒く感じる日々が増えてきました。服装やお部屋の温度調節をして体調を崩さぬようご注意ください。また、現在のような状態がいつまで続かわかりませんが、皆様のご協力誠にありがとうございます。私達共も誠心誠意努めていきます。

なお、お知らせが遅くなりましたが、「はんの樹」は前号より、B5版からA4版に変更し、印刷も法人内で行うようにいたしました。今後ともよろしくご愛読ください。

(法人事務局 萩原)

2020年6月～8月の主な行事

六月

- 二日 火 研修委員会
- 九日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十五日 月 サービス向上委員会
- 二十二日 月 電子カルテ検討会議
- 二十三日 火 ISO9001推進会議
- 二十五日 木 評議委員会
- 二十九日 月 入所部門基本構想策定会議
- 三十日 火 人事構築プロジェクト

七月

- 一日 水 創立五十二周年式典
- 七日 火 研修委員会
- 十三日 月 入所部門基本構想策定会議
- 十四日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十六日 木 電子カルテ検討会議
- 二十日 月 サービス向上委員会
- 二十二日 水 人事構築プロジェクト
- 二十七日 月 入所部門基本構想策定会議
- 二十八日 火 ISO9001推進会議
拡大連絡協議

八月

- 四日 火 研修委員会
- 十一日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
- 十二日 水 昼礼
- 十七日 月 サービス向上委員会
- 二十五日 火 入所部門基本構想策定会議
- ISO9001推進会議
- 二十七日 木 臨時理事会(移転関係)

社会福祉法人 ^{しん} 榛 ^{とう} 桐 ^{かい} 会
はんな・さわらび療育園

〒370-3341

群馬県 高崎市 榛名山町 28-30

TEL 027-374-9221(代)

FAX 027-374-9159

<http://www.shintokai.jp/>

E-mail:sawarabi@h-sawarabi.com

発行責任者 園長 金子 広司